

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.404
2025.5.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可
●東京・生活者ネットワークの活動を紹介します

2025 東京都議会議員選挙

あなたの選択が
東京を変える。



東京・生活者ネットワーク

私たちが

挑戦します

ひとりでも孤独(ひとり)じゃない社会へ



【杉並区】

東京・生活者ネットワーク元都議会議員

小松 久子

こまつ・ひさこ ●profile

■1953年台東区生まれ。都立白鷗高校卒業■73年日本女子大学中退■73～76年人形劇団に籍を置き舞台活動■98年北東京生活クラブ生協理事■2003～13年杉並区議会議員(3期)■13～17年東京都議会議員。文教委員会副委員長、東京都情報公開推進委員会。教育問題や消費者・人権問題、道路やダムなどの公共事業、環境、子ども、福祉など暮らしに身近な課題に取り組む■17年～杉並・生活者ネット事務局長。東京・生活者ネット運営委員、広報委員長。認定NPO法人理事



東京を
生活のまち、
安心・共生・
自治のまちに

いわなが・やすよ ●profile

■1971年国分寺市生まれ。中央大学杉並高校卒業■94年中央大学卒業。私立高校英語科教諭■97年イギリスに留学■98年高校生の海外留学をサポートする仕事に従事■2009年生活クラブ生協国分寺まち委員長■11～21年国分寺市議会議員(3期)。国分寺駅周辺整備特別委員会副委員長、文教子ども委員会委員長など■21年都議会議員当選。公営企業委員会。省エネ・再エネの推進、地下水のPFAS汚染、ジェンダー平等、循環型農業などの課題に取り組む■東京・生活者ネット代表委員



【北多摩第二】(国分寺市/国立市)

東京・生活者ネットワーク都議会議員

岩永 やす代



【世田谷区】

東京・生活者ネットワーク都政担当政策委員

高岡 じゅん子

たかおか・じゅんこ ●profile

■1960年渋谷区生まれ。立教女学院高校卒業■82年筑波大学比較文化学類卒業■82～85年榊ワコールインテリアファブリック事業本部勤務■94年～世田谷区羽根木在住■2009年23区南生活クラブ生協理事■11～23年世田谷区議会議員(3期)。区民生活常任委員会、DX推進・公共施設整備等特別委員会など。環境、平和、福祉などの課題に取り組む■23年～世田谷・生活者ネット代表■24年原水禁せがや市民会議共同代表■環境省登録環境カウンセラー、宅地建物取引士



都議会には、もっと女性の議席が必要です。

東京都議会では127議席(欠員:4)のうち、女性議員は40人に留まっています。子育てや女性就労環境の改善、災害対策や議会の質的向上を図るためにも、女性の議席増が必要です。設立以来、延べ470人の女性議員を生み出してきた生活者ネットの、今夏の挑戦にご注目ください。

2025都政の課題



杉田 敦
政治学者・
法政大学教授

暮らしやすく
働きやすい
東京にするために

いまの東京に求められているものは何でしょうか。巨大企業のさらなる誘致でしょうか。華やかなショッピング街の拡大でしょうか。そうしたことを喫緊の課題としている自治体も多くあるでしょう。しかし、東京は違うはずです。東京がいま必要としているのはむしろ、そこに暮らす人々にとって暮らしやすい環境、そこで働く人々にとっての安全な環境などではないでしょうか。

最近の隣接県での道路陥没事故は、下水道施設の老朽化が原因と言われており、こうしたことは東京にとっても無縁ではありません。PFASなどによる地下水汚染は、都内でも深刻な問題であることが明らかになっています。過去に整備された生活インフラの早急な再整備が求められているのです。

想定される大地震など自然災害への対策も重要な課題です。都内住民の安全確保はもちろん、都外から通勤・通学する多くの人たちの帰宅手段をどう考えるのか。都政は問われています。

こうした状況にもかかわらず、現在の都政与党は依然として巨大開発中心の発想で政策を推進し、神宮外苑再開発については、環境破壊への国内外から寄せられた懸念を真剣に受け止めていません。

そもそも、いわゆる裏金問題として浮き彫りになったように、多額の企業・団体献金に依存する政治活動では、そこに暮らす人々、働く人々の利益よりも、巨大企業などの利益が優先されることになってしまいがちです。

東京・生活者ネットワークは、生活者、すなわちまさにそこで暮らし、働く人々の意見を代表するためにつくられた地域政党です。いまは小さな政党となってしまっていますが、歴史があり、実績がある、都政の場に不可欠の政党です。いま、東京に必要なことを実現するための政党、東京・生活者ネットワークに期待しています。

●6月22日(日)は、東京都議会議員選挙の投票日(期日前投票は6月14日～21日)です。

生活者ネットワークを応援します

浅倉むつ子 早稲田大学名誉教授



いま、欲しいものは、個人の尊厳と人権が守られる社会、多様な属性をもつ人々が住みやすい、差別のない社会、平和なくらしが守られる社会です。東京をそんな社会にするために、生活者ネットワークを応援します。

安溪遊地 山口県立大学名誉教授



東京が変われば、地方も変わる。山口市の農村地帯のスーパーでさえ、店頭からお米が消えた米騒動。戦争と気候危機のなかで日本には外国から食料を買い続ける経済力がありません。かろうじて食料を生産している農村が滅びれば東京も持たないのです。経済効率よりのちの尊厳をめざす生活者ネットワークに期待しています。

池田あつ子 元都議会議員



生活の課題を議会に持ち込み、日々解決していく好いス

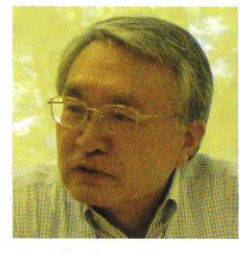
生活者ネットワークは、設立から48年目を迎えた地域政党（ローカルパーティー）です。都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議38人の女性議員とともに、それぞれの自治体課題に取り組みと同時に、市や区を越えた東京問題、国政問題には全体で取り組んでいます。来る6月22日（告示：6月13日）は東京都議会議員選挙の投票日です。私たちは、「あなたの選択が、都政を変える。」をスローガンに、市民発、東京・生活者ネットワークの提案を掲げました。いまこそ、都政を変えるチャンスです。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするための政策提案にご注目ください。

今中哲一 京都大学研究員



パイラル（好循環）が形成されていく。このことが自治であり、議会の権能の中に生活者の代弁者を持つことで、社会の制度やしきみが使いやすくなります。誰もが平等に持つ投票権、あなたの選択でその代弁者を身近につくることができま。共感を以て困っていることを解決する仕組みを一緒に作りましょう。

伊藤久雄 NPO法人まちぼと



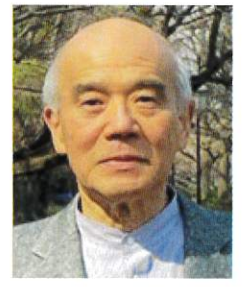
候補者3人以上の当選に期待！ 今年には都議会議員選挙、参議院議員選挙と続く政治決戦の年です。まず、都議会議員選挙では、反小池知事勢力の躍進が求められます。そのためには、生活者ネットの候補者3人以上が当選することが重要です。地域に根を張った生活者ネットに期待します。

大河原まさこ 衆議院議員



「政治は生活の道具」という言葉との出会いが、私の政治参加のきっかけでした。身近な問題をみんなで調べて議論を重ねる政策にする過程を経験したことは貴重な財産であり、生活者ネットの議員経験者としての誇りです。生活者の政治を貫き必要不可欠な地域政党として益々力を発揮してくれるだろうと期待しています。

大西 隆 都市工学者、東京大学名誉教授



杜を削った、その木々を無闇に切ったりしてはいけません。交通量が減っているにもかかわらず、1960年代につくられた計画のままに道路事業を進めてはいけません。効果のない強引な大型治水事業にも再考が必要です。高層マンションを増やすことが住宅政策ではないはずだ。まだ続いている開発優先の都政をストップさせ、成熟都市東京のために生活優先のまちづくりを進める必要があります。東京・生活者ネットワークに期待します。

大村 究 羽田問題解決プロジェクト代表



2年4か月ぶりの政府固定化回避検討会で、最低でも10年は対策が打てないこと、実現しても回避はごく一部に限られることが判明。他方、私たちの研究では新ルート効果は極めて限定的で従来のルートでも政府目標がほぼ達成可能と

判断。生活者ネットが是非都議を増やし、この不合理な新ルートをやめさせる流れに勢いをつけて下さい。

沖藤典子 著述業



政治とは人々の幸福のために、最大限の奉仕をすること。それができるのは、「生活者」を掲げるこの政党のみです。選択的夫婦別姓、子どもを産みやすく育てやすく、介護不安のない制度、その生活者目線に立った政策の実行こそが、未来を救います。あなたの選択が東京を変えます、あなたの一票が人々の幸福を守ります！！

戒能民江 お茶の水女子大学名誉教授



怒りがあふつと湧き上がる毎日。理不尽な政治にははつきりとノーを突きつける市民の声が日常を変えます。女性の人権が政策課題の中心に据えられる都政への転換をめざして、東京生活者ネットワークの岩永さん、小松さん、高岡さんを心から応援します。

鏡 諭 自治体政策研究フォーラム代表

高齢者や家族を支えるための介護保険や高齢者福祉政策を守るため、生活者の目線が重要です。安心して年を重ねられる社会を作っていくために東京・生活者ネットワークの皆さんに頑張ってもらいたいと思います。



樫田秀樹 フリージャーナリスト

政治不信が高まるなか、東京・生活者ネットワークは、設立以来、一貫して



市民の参画をベースとした民主主義を目指し、議会でも常に、誰もが安心して暮らせるための施策を訴えてきました。嘘を言わない政党という点で、東京・生活者ネットワークを強く推薦します。

加瀬和美 生活クラブ生活協同組合理事長

「食べる」ことを通じて見えてくる課題がたくさんあります。産地はどうなっているのか、どう運ばれ、どう加工されるのか、食べ残すのか、さらに福祉やエネルギーの問題にまで及びます。持続可能な未来につなげていくために今やるべきことがたくさんあります。こうした課題に真摯にむきあい、市民参加の政治を実践する生活者ネットワークを応援します。



片岡 勝 第3世界シニア起業家



都市生活者のリスクは食糧でしょう。各家庭でできることをやる「都市のみのり運動」で自給の真似事でもいいので始める。その内、技術を学んだりしてコミュニケーションを超えて繋がりが増えて来ます。僕のCWB（コミュニティワークビヨンド）は「超えるラジオを若者と始めました。一緒に都民の意識を変えていきたいと思います。」

木原省治 広島県被団協、被爆を語り継ぐ会

被爆、戦後80年世界中で紛争が絶えない状況を危惧しています。そんな中、広島市の平和公園には世界中から平和を求める人たちが訪れていま。生活者の立場にたった政策の実践で全国の自治体のモデルになる政治を打ち出していただき活躍される

ことを願っています。候補者全員の当選を祈念します。



工藤春代 NPO市民シンクタンクひとまち社 SNSやWebから情報があふれ、求める情報は狭く深くなりがちです。リアルな体験と人とのつながりこそが信頼できる情報にたどり着くことであり、若者も含めた世代の孤立を防ぐことになるのではないかと思います。政治不信も深まる中、地域に根を張り地域課題を解決するために尽力している生活者ネットワークに期待しています。

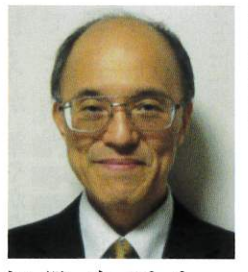
近藤恵津子 NPO法人コミュニティスクール、まちデザイン理事長

大都市東京に住む一人ひとりが「価値観」を変え、生活を本気で見直さない限り、地球の未来はない



とさえ感じます。私たちが食やエネルギー、暮らし方を安心して選択するために、その後押しとなるしくみが必要であり、それを作れるのは生活者ネットワークだと思います。

天笠啓祐 ジャーナリスト



生活がとてもしんどくなっています。特に食品の価格高騰は生活者に打撃となつています。それは農業を破壊し、食の自給と安全を奪う政策を次々と打ち出してきた政府の責任であり、都市農業、生活者を顧みない都政の責任も大きいと思います。市民生活を守り、食の自給と安全を確立する道を進むため、広く市民が連帯して闘うことが大切です。生活者ネットが地域を基盤にその先頭に立っていることを心強く思います。

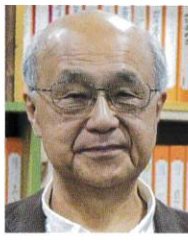
島袋善弘 山梨県立大学名誉教授



生活者ネットワークは暮らしから、市民活動のなかから政治を考

え、都政を変えることを目指しています。生活者ネットワークの候補者は、市民活動で子どもの教育と人権、ジェンダー、日本の政治の変化と現在、環境行政の推進などに取り組みできました。候補者はいずれも市民活動の力強い推進者です。

白石 孝 NPO法人官製ワーキングプア研究会理事長



地方自治法改正が、中央集権の強化、自治の後退に繋がっている内容でした

が、自治の現場から自治を守り、強化する政治と市民活動を進めたいです。立候補していないすべての選挙区で、ゆるやかな連携を作り上げ、そのためには貴ネットワークの複数議席獲得を期待します。

進藤久美子 東洋英和女学院大学名誉教授



すべての人が尊厳をもって、人間らしく生きる

れるための「生活環境」を創り上げ、守り抜く！ 地域政党・生活者ネットワークの半世紀にわたる活動を「もういいかげん」都政の主流にするために、小松久子さん、岩永やす代さん、高岡じゅん子さんの全員当選を全面応援します。

熊本二規 明治学院大学名誉教授

経済優先政策により格差が拡大する中で物価高騰が進み、生活がますます苦しくなっています。また、東京都では、再開発計画、道路計画、調節池計画など建設業界の利益追求のための計画が目白押しです。環境や人権を重んじる政



策を追求してきた生活者ネットの候補者をぜひ都議会に送り込んで政治を変えていきましょう。

杉田 敦 政治学者／法政大学教授



いまの東京に必要なのは、そこで暮らし、働く人たちに

ちにとって良い環境を確保し、それを維持することです。巨大開発中心の政治は、いまの東京には要りません。上下水道の再整備、自然災害対策、再生エネルギーの推進など、課題は山積しています。歴史と実績のある地域政党、生活者ネットに期待しています。

鈴木 篤 弁護士

手をつなごう、分断に負けず 深刻化する分断と孤立。それは、自然に生まれるものではなく、人々がバラバラになって孤立している方がつこうが良いと考える者たちが意図的に作り出しているのです。だから、生活者ネットは、社会の主人公である市民・都民に向けて「人と人、モノと人、市民と行政、分断された社会をつないでいさましよう。あきらめずに、考え、行動しましょう」と呼びかけているのです。この精神をしっかりと守り地域に根を張って活動を積み重ねてきた生活者ネットこそ、今の社会に必要なものだと私は信じています。



大嶽貴恵 環境まちづくりNPOエコメッセ理事長

気候変動により引き起こされる異常気象、山火事、大雨等身近な問題になっています。今こそ多様なセクターがつながり、行動を起こさねばなりません。政策として、議会へ代弁をする人、市民の思いを託せる人、そこには



今の子どもたち、未来の子どもたちのためにも働く人が都議会には必要です。全力で応援します。

田中三彦 科学ジャーナリスト

循環的で持続可能な街づくり。大都市東京だからこそ目指してほしい大切な理念です。だから東京・生活者ネットワークを応援しています。たとえば電力。東京は循環的でも持続可能でもない。他県の原発に依存してきま



した。安全か危険かの議論を超えて原発の意味を問うてみてください。浮かんてくる唯一の選択は電気も、地産地消。

坪郷 實 早稲田大学名誉教授



生活者ネットワークがこれまで取り組んできたように、世代を問わず、多様な市民の誰もがその人らしく暮らせる地域をつくるための政策づくりが大事です。生活者ネットワークの躍進により、都政改革を行い、生活者のための政策を実現しましょう。

豊泉惣子 在宅福祉サービスNPO理事長

2000年から始まった介護保険制度が、今まさに崩壊寸前の状況となっています。繰り返される給付の抑制と負担増で利用したくても利用できるサービスがない、介護人材の確保ができない。制度を考える側と市民の間にある大きな溝を埋めるために、私たち市民の声を真つ当に届けることができる、生活者ネットワークに期待します。



橋本淳司 水ジャーナリスト／武蔵野大学客員教授

東京・生活者ネットワークが掲げる「人口減少と気候危機に備えた都市づくり」は緊急の課題です。新規開発より既存の緑地を維持・拡充



することが重要。緑地はヒートアイランド現象を緩和し、豪雨時の雨水浸透を助けるなど調整機能を果たします。限られた予算を森林や公園の保全、屋上緑化、雨水活用などに配分することでレジリエントな都市づくりを実現できます。

福嶋浩彦 中央学院大学教授／元我孫子市長



いま、本気で一から民主主義を再生する必要があると考えます。地域の中で特別な活動をしたり、特に大きな声を挙げたりしていない「普通の市民」が社会や政治について自由に安心して話し合える場をたくさん作る。それが民主主義の土台となります。市民としっかりと結びつき活動されている生活者ネットの皆さまに期待します。

保坂展人 世田谷区長



2011年4月、東日本大震災と原発事故の直後に

に立候補したとき、私が羅針盤としたのが東京・生活者ネットワークの政策集でした。子どもの人権、若者支援、ジェンダー平等とこれからの東京都議会です。都市デザインにおいて、ヒューマンサイズの緑豊かな東京をめざす生活者ネットワークに期待します。

堀 利和 視覚障害者・元参議院議員



情報公開と住民自治を本務とする生活者ネットにとって、本年6月の都議会議員選挙は、なお二層重要なものになると思います。12年に一度、都議選と参議院選がセットでやってくる夏であることから、石破内閣をも問う内容とその重みをもつこととなるからです。政治は住民自治から、その意味でも候補者全員の当選を切に期待します。

松本典子 駒澤大学経済学部教授



社会の色は1人1人の意見で少しずつ変化します。私たちが無言では社会の色は

変わりません。生活者の視点を常にもつ生活者ネットの議員は、私たちの生活に寄り添い政治に声を届け、色彩豊かな社会を形成します。格差がますます広がる現代社会において安心な生活を実現するため、私は東京・生活者ネットワークを応援します！

山口二郎 政治学者／法政大学教授



東京・生活者ネットが「生活者の政治」を掲げて地方議会に進出してから30年以上が経ちました。この間の日本の社会、経済は大きく変化しました。貧困、格差、高齢化が進む中で、守るべき生活の意味も大きく変わっています。様々なリスクに直面しながら生きる人々を支えるために、改めて生活者のための政策を打ち立て、政策の刷新と行政監視に取り組みたいと願っています。

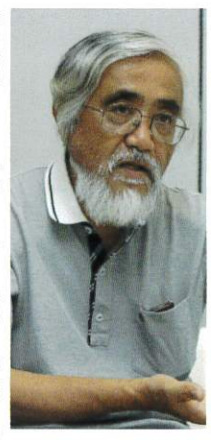
山田健介 社会福祉法人悠遊理事長



3名の候補者はともに、地域の声・生活者の思いをしっかりと受け止めて、市民の生活に密着した政策を提案する方々です。福祉や教育、環境問題に真摯に取り組む、誰もが安心して暮らせる社会を目指しています。生活者目線で問題解決に取り組む姿勢に信頼を寄せ、応援します。

湯浅二郎 ピースデポ前代表

民主主義を定着させるため生活に密着した課題に取り組む東京生活者ネットを応援します。被爆・敗戦80年、日本被団協のノーベル平和



賞受賞も生かし、日本が「核兵器禁止条約」に参加するためにも、今こそ北東アジア非核兵器地帯の出番であることを都政の場で訴えてください。生物多様性の保全から都市を変えていくことも重要です。

菅井益郎 國學院大学名誉教授



市民の健康と安全を守るために政治を監視し、また住みよい街づくりのために活動する生活者ネットの皆さんを心から応援しています。頑張ってください。

和田安希代 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合理事長



2020年12月労働者協同組合法が成立。ワーカーズ・コレクティブが40年間積み上げてきた出資・経営・労働の三位一体の働き方が法律に位置づけ、全国で127の労働者協同組合が生まれました。主体的な働き方は、ディセントワーク、ワークライフバランスを実現し、暮らしの在りようをも変える力があります。私たちは、政治を人任せにしない生活者ネットの政策を共に進めます。

- 一木 玲子 東洋大学客員研究員
上田 昌文 NPO法人市民科学研究室代表理事
内田 聖子 NPO法人市民科学研究室代表理事
遠藤 保男 東京の水連結会代表
金子 匡良 法政大学法学部教授
岸本 聡子 杉並区長
小寺 隆幸 NPO法人ほどこみでいをかわ理事
澤登 早苗 元都立大学客員教授
藤原 弘典 東京女子大学客員教授
瀬戸 大作 反貧困ネットワーク
竹村 英明 市民電力連絡会理事長
田中 優 未来バンク理事長
長谷川茂雄 道路住民運動全国連絡会事務局長
三木由希子 情報公開ワーキンググループ理事長
両角 達平 日本福祉大学専任講師
山田 和夫 要町あさやけ子ども食堂店主



あなたの選択が、東京を変える。

東京初の地域政党の実績で、政治を生活者の手に



小松 久子
こまつ・ひさこ
杉並区



岩永 やす代
いわたな・やすよ
国分寺市／国立市



高岡 じゅん子
たかおか・じゅんこ
世田谷区

2025東京都議会議員選挙

東京・生活者ネットワーク

の提案

重点政策

1 物価高騰に直面する市民生活をささえる

——高齢女性、シングルマザー、非正規雇用の若者を軸に

2 人口減少と気候危機に備えた都市づくり

——都市のダウンサイジングと緑化

3 情報公開と市民参加で都議会を変える

——裏金をつくれぬしくみ提案

東京初の地域政党としての実績を活かし、政治をクリーンにする

■政治活動にかかわる資金の透明性を高め、裏金をつくれぬしくみ提案

■市民参加と情報公開で議会改革をすすめる、ひらかれた都議会にする

■対話する力を育て、自治する市民を育てるシティズンシップ教育を

■子どもから大人まで憲法・人権・平和を学ぶことができる場を保障する

人口減少時代と災害を見据え、巨大化する東京を安心生活都市へ

■人口減少まであと5年！ 都市のダウンサイジングを可能とする制度構築を

■大規模再開発や大型公共工事を見直し、生活優先のまちづくりに転換する

■大地震や来るべき人口減少社会を見据え、住まいとしての超高層マンション建築を見直す

■地域コミュニティづくりは災害対策。障がい者や外国人など、あらゆる人の顔が見える関係づくりをすすめる

■トイレカー、キッチンカーを自治体連携で有効に使い、非常時の生活の質を保障する

■地下のコンクリート化による災害対策の有効性を検証し、グリーンインフラによる水害対策に取り組む

■都市上空航空路や過密路線のリスクが大きい羽田新飛行ルート見直しを

■地下環境を破壊し都民の生活を脅かすリニア新幹線や東京外郭環状道路の工事を中止する

■都市計画道路の新設より、下水道など地下インフラの整備を優先に！

若い世代にツケを残さない持続可能な環境づくり

■再生可能エネルギーの地産地消で東京から脱原発と脱気候危機！

■東京を冷やす！ 緑を増やして建物を断熱化、まちをクールダウンする

■水循環の視点でPFAS対策に取り組み、安全な地下水を取り戻す

■大消費地東京から使い捨てプラスチックをなくす

■給食への地場野菜導入や農産物連携による地産地消をすすめる、都市農業を守る

■予防原則に基づき、香害などの化学物質対策をすすめる

■食の安全と消費者の知る権利を守る

移動は基本的人権！ 行きたいところに安心安全に行ける支援の充実を

■公共交通の空白地域の解消は、採算性だけでなく福祉的視点で自治体を支援する

■再生可能エネルギー活用でCO₂を出さない移動手段を増やす

■歩いて目的地に行けるウォーカーバブルシティの発想でまちづくりをすすめる

ジェンダー主流化と多様性尊重でだれもが生きやすい東京に

■物価高騰の中で、生活を守る。所得補償と計画流通で米と野菜の価格安定を

■社会保障・税・雇用制度を世帯単位から個人単位にシフトし、「年収の壁」を解消して生涯安心して暮らせ

る収入を保障する

■男女賃金格差の是正と長時間労働の見直しで、母子世帯や高齢女性の貧困をなくす

■同性カップルが生きやすい社会のしくみをつくる

■虐待や性暴力から回復するためのリカバリーセンターをつくる

■人権とジェンダーの視点で包括的性教育をすすめる

ライフステージに応じた働き方・住まい方

■空き家の借り上げ式都営住宅や家賃補助で、若者や単身高齢者向け住宅の確保を

■エコ住宅による自家発電を広げ、環境にも家計にもやさしい住宅政策をすすめる

■子育て世代や高齢者が働きやすい「近所就労」をすすめる

■公的な協働事業や委託事業で働く人の賃金を保障する

■障がいがあっても共にまじって働く協同労働やソーシャルファームを支援する

■個人単位の税・保険・年金制度に改革し、自分らしく働き暮らせる社会を

子育ては社会で！ 地域で子どもを育てる

■子どもの権利を守る！ 東京都子どもコミッション制度をつくる

■「行きたくなる学校」づくりとフルインクルーシブ教育の実現で、多様な学びを保障する

■親も子もひとりにしない！ 妊娠前から切れ目のない支援を

■保育は量から質へ。食と遊びを充実させた保育園と学童クラブをつくる

■子どもの救済と自立支援の場として児童相談所を充実させる

自然・芸術・スポーツを身近に楽しめる東京に

■所得に関係なく誰もが気軽に芸術やスポーツを楽しめるサポート制度をつくる

■多世代が憩える公園づくりを市民参画ですすめる

■東京の水と緑を活かした憩いの場をつくりながら景観を守る

介護問題は都市問題、ケアする人もされる人も大切にされる東京に

■ケアワーカーの価値を見直し、働く人の権利保障を

■地域社会に認知症当事者の活躍と交流の場をつくる

■継承者が必要としない樹木葬や共同墓地など、家制度にしばられずに選べる墓地を増やす

ひとりでも孤独（ひとり）じゃない、つながれる社会へ！

■一人暮らしが50%の東京で、個人を尊重した新しいコミュニティ施策をすすめる

■多世代交流の居場所、コミュニティ食堂など「つながり」を育む機能を増やす

■海外をルーツとする人たちと地域で共に暮らし、多文化・多民族共生の東京をつくる

■地域課題を広域で解決するため、東京都内での自治体連携をすすめる

東京都データ

■予算（2025年度）／一般会計予算	9兆1580億円	特別会計・公営企業会計合わせて総額	17兆8497億円
■人口（2025年1月1日）／1419万5730人	うち外国人	72万1223人	
■面積／2194 km ²	■米軍基地／7カ所	16 km ²	
■農地（2024年度）／6090ヘクタール	■一人一日当たりごみ排出量（2023年度）／795グラム		
■温室効果ガス排出量（2022年度）／5945万トン（CO ₂ ）			
■高齢化率（2025年）／23.44%	日本29.3（24年）	イタリア24.22	ドイツ22.79
	フランス21.75（外国は23年）		
■合計特殊出生率（2023年）／0.99	日本1.20	アメリカ1.62	フランス1.68
	スウェーデン1.45	韓国0.72	中国1.16（21年）
	ドイツ1.35		
■一人当たり公園面積（2024年4月1日）／5.77m ²	ニューヨーク18.6m ²	ロンドン26.9m ²	
	ベルリン27.9m ²	パリ11.5 m ²	
■女性都議会議員（2025年4月）／40人（定数127人）			
■都職員定数（2025年度）／16万7804人			

生活者ネットワークが実現しました

●2050年CO₂ 実質ゼロのゼロエミッション東京戦略
●手話言語条例●こども基本条例●DV加害者更生プログラム事業費補助●性犯罪被害者への24時間対応●人権条例（SOGI、ヘイトスピーチ）●トイレの洋式化、女子トイレ・だれでもトイレの増設●女性の視点・子どもの視点で防災計画●ヤングケアラー支援●空き家の利活用促進●多重債務者への生活サポート事業の創設●議員の政務活動費申請に1円からの領収書添付と公開●障がい者差別解消条例●子どもの虐待防止条例●食品安全条例●都立霊園に樹木墓地開設…など

あなたのまちにも生活者ネットワーク地域ネットのある区・市

足立・板橋・江戸川・大田・葛飾・品川・杉並・世田谷・中野・練馬・目黒・稲城・狛江・多摩・調布・八王子・日野・府中・町田・昭島・青梅・清瀬・国立・小金井・国分寺・小平・立川・西東京・東村山・東大和・福生・武蔵野